



公益社団法人 いわて被害者支援センター

# 支援センターだより

平成29年1月30日発行

No. 17

## 平成28年度「犯罪被害者県民のつどい」を開催

「平成28年度犯罪被害者支援県民のつどい」は、11月12日(土)江刺体育文化会館ささらホールにおいて本年度から主催者に岩手県が加わり、(公社)いわて被害者支援センター・岩手県警察の共催で約260人が参加して開催されました。



挨拶



感謝状

### 犯罪被害者県民のつどい

平成28年11月12日(土)  
於：江刺体育文化会館ささらホール

第一部の開会セレモニーでは、細江理事長の主催者代表挨拶の後、来賓の岩手県議会田村誠議長、岩手県公安委員会雫石禮子委員長から祝辞をいただきました。

感謝状の贈呈では、長年にわたり被害者支援活動にご尽力をされた功勞により、岩手県警察本部長・いわて被害者支援センター理事長連名の感謝状が岩手県警察本部種田警務部長から、また、細江理事長から、いわて被害者支援センター理事長の感謝状が次の個人及び企業・団体に贈られました。

#### ■岩手県警察本部長・いわて被害者支援センター理事長連名感謝状

- ・佐藤 咲僖 氏 (一関市)

#### ■いわて被害者支援センター理事長感謝状

- ・江刺岩手ライオンズクラブ(江刺区)
- ・株式会社 孝輝殿(江刺区)
- ・有限会社 菊池塗装工業所(江刺区)
- ・有限会社 水沢自動車学校(水沢区)
- ・マタニティクリニック小見産婦人科(水沢区)
- ・イワセキ株式会社(江刺区)

第二部では、昨年の講演で多くの参加者に感銘を与えた名古屋市の磯谷富美子さんから「闇サイト殺人事件の被害者遺族となって」と題して講演をいただきました。

たった一人の最愛のお嬢さんを亡くされ、想像を絶するつらい現実と真正面から向き合い闘ってこられた状況をお聞きし、犯罪被害者支援について考えていただく良い機会となりました。

また、講演後は岩手県警察音楽隊による「ふれあいコンサート」が行われ、9曲が演奏され聴衆を魅了しました。

平成29年度は、9月30日(土)に二戸市民文化会館で開催する予定です。



講演



発行：公益社団法人 いわて被害者支援センター  
〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3-10-2 (岩手県立県民生活センター2F)

TEL: 019-621-3750 FAX: 019-613-3754  
E-mail: info.niji.50@iwate-vsc.jp URL: http://www.iwate-vsc.jp

## 平成28年度定時総会の開催

6月19日(日)エスポワール岩手において平成28年度定時総会を開催しました。

総会では、理事長挨拶の後、来賓の岩手県民くらしの安全課後藤文孝課長と警察本部黒沢利達県民課長からご挨拶をいただきました。

その後、議案審議に入り議案第一号「平成27年度事業報告及び収支決算の承認について」及び議案第二号「平成28年度事業計画及び収支予算の承認について」が審議され、満場一致で承認されました。

なお、6月3日(金)に27年度第一回理事会が開催され、平成27年度定時総会に提出する議案2件が審議され



たほか、新規入会の賛助会員として5法人、個人96人の入会が承認されました。

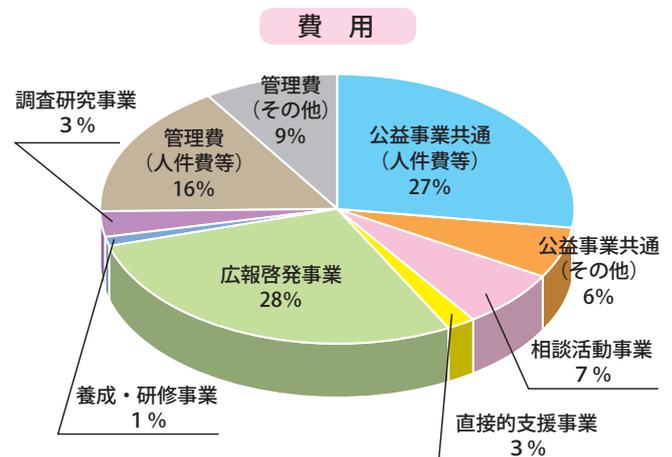
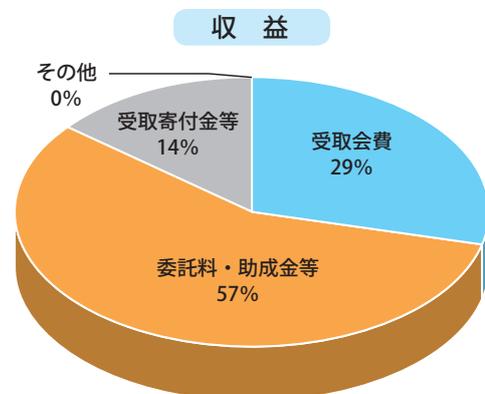
### 平成27年度決算

#### ■収 益

科 目	金 額	割 合
受取会費	7,801,500	29%
委託料・助成金等	15,257,431	57%
受取寄付金等	3,646,383	14%
その他	1,820	0%
計 (A)	26,707,134	100%

#### ■費 用

科 目	金 額	割 合
公益事業共通 (人件費等)	7,483,294	27%
公益事業共通 (その他)	1,634,369	6%
相談活動事業	1,933,013	7%
直接的支援事業	655,207	2%
広報啓発事業	7,698,802	28%
養成・研修事業	308,688	1%
調査研究事業	882,204	3%
事業計	20,595,577	74%
管理費 (人件費等)	4,505,633	16%
管理費 (その他)	2,566,951	9%
管理費計	7,072,584	26%
計 (B)	27,668,161	100%



### 預保納付金を活用した事業

金融庁から公益財団日本財団が委託を受けた預保納付金事業について期間限定ではありますが、平成27年度も団体の自立を目指すための財政基盤を支える仕組みを作る事業として①レンタカーの活用による支援活動やファンドレイジング活動等の推進②公共交通機関やラジオを利用した広報③広報資料の作成④パソコン等の整備等として8,790,000円の助成を受け、事業目的達成のため活動を推進して参りました。

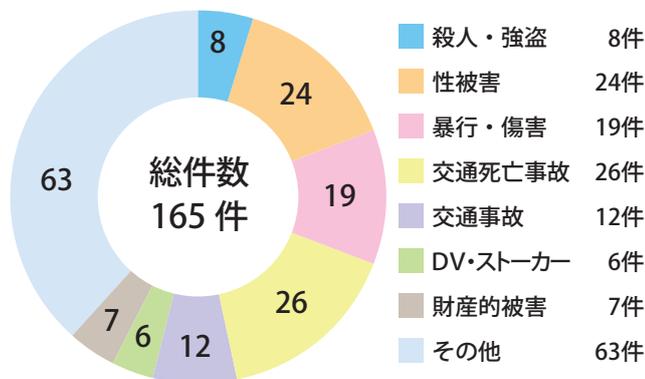
この助成により、直接的支援活動や賛助会員の入会等の活動、講演等の活動が効果的に推進することができましたほか、よりきめ細かい活動を行うための情報管理システムの導入が図られました。

年度末まで、助成目的であります自立して必要な支援活動が適切に推進できるように会員の拡大などに全力で取り組んで参ることとしております。

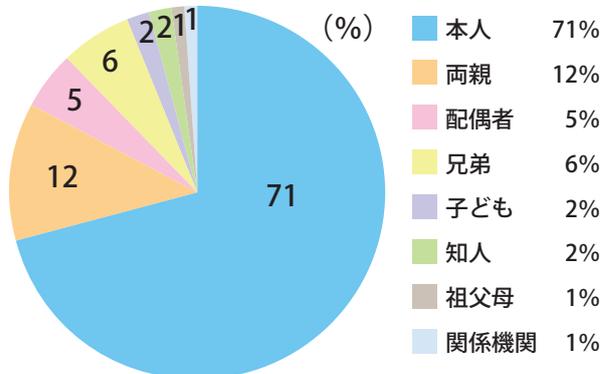
# 平成28年中の相談・支援活動状況

## 電話相談

被害別

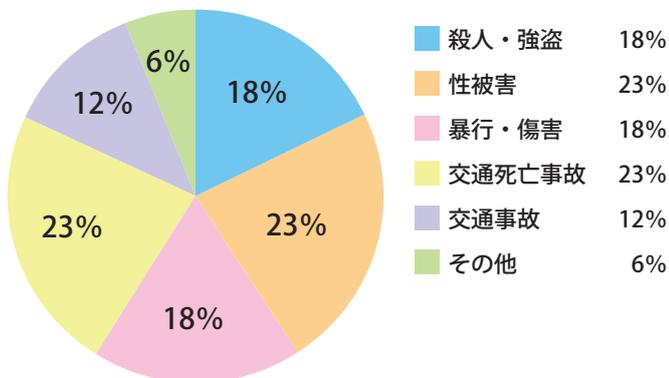


被害者との関係

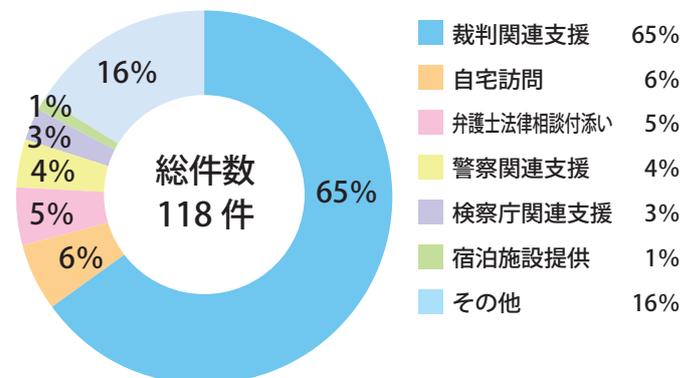


## 直接的支援

事件別

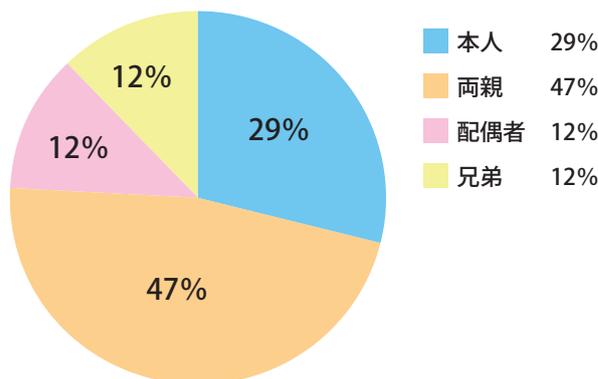


支援形態別



家族や知人など身近な方が被害にあわれた場合、当センターをご紹介ください。相談や支援活動はすべて無料ですし、相談内容が他に漏れることはありません。支援の際は、相談者のご希望に沿った対応をいたします。遠隔地で直接相談に来られない場合は、必要に応じてこちらからお伺することもできます。

直接支援の端緒 (被害者との関係)



# 法人賛助会員、寄付金のご紹介

(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

## 新規法人賛助会員 ご入会ありがとうございました

### 盛岡市

- ・(株)三田商店
- ・アルファクラブ東北(株)
- ・(株)五六堂印刷
- ・国際東北(株)

### 滝沢市

- ・(株)トークス岩手支社

### 平泉町

- ・中尊寺
- ・宗教法人毛越寺
- ・医療法人三秋会介護老人保健施設さわなり苑
- ・(有)プロフィット
- ・(一社)平泉観光協会
- ・(株)国際自動車教習所
- ・(有)鈴木鉄筋

### 一関市

- ・世嬉の一酒造(株)
- ・一関中央クリニック
- ・医療法人三秋会介護付有料老人ホームいわいの郷
- ・医療法人三秋会介護老人保健施設やまゆり
- ・(有)シマフジ企画
- ・大森工業(株)
- ・(有)郭公屋
- ・岩手日日新聞社
- ・さくらの会
- ・川嶋印刷(株)
- ・(一社)一関観光協会
- ・新生ビル管理(株)
- ・北上製紙(株)
- ・(株)佐原

- ・(一社)岩手県タクシー協会一関支部
- ・(株)菜花堂
- ・(株)松栄堂
- ・一関信用金庫
- ・(株)小野寺設備
- ・(株)平野組
- ・一関商工会議所
- ・(株)佐々木組
- ・(株)アグリサービス
- ・川崎コンクリート工業(株)
- ・両磐酒造(株)

### 普代村

- ・(株)越戸商店

### 久慈市

- ・(株)小山組
- ・遊技業久慈組合
- ・宮城建設(株)
- ・下館建設(株)
- ・(株)中塚工務店
- ・(株)ヒカリ総合交通
- ・久慈琥珀(株)
- ・蒲野建設(株)
- ・プレステック(株)
- ・一沢コンクリート工業(株)

### 洋野町

- ・(株)プライム下館工務店

### 二戸市

- ・二戸地区コンビニエンスストア等防犯対策協力会

(敬称略、順不同)

## 寄付金

### 法人・団体

- ・北日本通信株式会社
- ・日本警察犬協会岩手支部
- ・秋田中央警察犬訓練所陽犬組
- ・岩手県警察フットサル大会実行委員会
- ・岩手県臨床心理士会
- ・一般財団法人岩手県警察職員互助会
- ・株式会社バーグル

### 個人

- ・増田伸洋
- ・伊藤幸子
- ・平野文男
- ・佐々木裕子
- ・井上一広
- ・細江達郎
- ・中谷敬明
- ・智田文徳
- ・日山忠
- ・佐藤佳子

(敬称略、順不同)

## 講演活動

犯罪被害者支援に対する理解と協力を得るために専務理事及び被害者遺族等により、次のとおり（18回1,531人）講演を行いました。

・盛岡東警察署・宮古警察署・花巻警察署・岩手大学「法と人権」ゼミ 岩手県警察学校・安全運転管理者等講習会(北上 さくらホール5回)・犯罪被害者支援講演会(ホテル東日本)・国土交通省公共交通フォーラム(マリオス)・宮古地方交通安全大会(山田町中央公民館)・北上警察署犯罪被害者ネットワーク総会・二戸警察署ネットワーク総会・宮古事業主会

- 7月13日(水)「犯罪被害者支援講演会 in 盛岡2016」をホテル東日本において約100人が参加して開催し「闇サイト殺人事件の被害者遺族となって」と題して、名古屋市磯谷富美子さんから講演をいただきました。



### 参加者の声

悲惨な事件の内容、残虐な犯人、事件後も遺族の苦しみは続き、事件は終わらないことを知りました。

犯人への怒りだけではなく、不安定な精神状態、捜査から裁判までの関係者の対応、遺族から見た司法制度の矛盾等、被害者を支援するための制度や環境が整っていないことを感じました。

加害者の権利も必要だが、真っ先に守られなければならないのは被害者や家族だということを強く感じました。

(専門学校生)

今日の話で、特に印象に残った言葉があります。「事件が起きたその瞬間から被害者や家族は未知の世界に放り出されるといこと」です。

精神的に大変だということはよく聞く話ですが、実際に聞いた体験は想像をはるかに超えるものでした。その中で周りのいろいろな人のサポートが大きいと思いました。

今日話を聞くことができ本当によかったです。私ができることは今日話を忘れずに、これからの社会の担うものとして深く考えていきたいと思います。

(専門学校生)

- 7月11日(月)には、岩手県警察学校学生及び教職員87名に対して、磯谷富美子氏から講演をいただきました。



# 広 報 活 動

## JR一ノ関駅での広報

一ノ関駅(細川 駅長)では、被害者支援活動への理解や関心を広めるために、11月15日から12月15日まで1カ月間、独自に相談ダイヤルや被害者支援の必要性などを記載した手作りのB1サイズ2種類の大型広報パネル27枚を製作し、みどりの窓口及びホームを結ぶ階段や改札口に設置しました。

特に、細川駅長のメッセージのほか、パネルを何枚も並べて掲示する「連張り」という広報が最も効果的ということで階段両側に14枚のパネルを掲示していただきました。

同駅は、新幹線も含め1日の乗降客が1万人と盛岡駅に次いで多く、大きな広報効果が期待されます。



改札口のパネル



階段のパネル

## その他の広報活動

IBC杯ラグビー招待試合(いわぎんスタジアム・5月15日)、イオン黄色いレシートキャンペーン(イオン盛岡店・毎月11日)、安全安心まちづくり県民大会(盛岡劇場・9月28日)、正しい交通ルールを守る運動県民大会(盛岡グランドホテル・10月26日)、県警音楽隊定期演奏会(大船渡市民文化会館・11月16日)等で、ポケットティッシュの配布など広報活動を行いました。



正しい交通ルールを守る県民運動大会

## 「でんでん虫」・大型ハイビジョンの広報

6月から6か月間、盛岡市内循環バス「でんでん虫」2台でデジタルサイネージ広報を行いました。



でんでん虫の広報

4月から1年間、盛岡市開運橋東袂交差点の大型ハイビジョンで15秒間の広報を1日57回放映しています。



大型ハイビジョン広報

## ラジオスポット放送

12月から3月まで、IBCラジオで犯罪被害相談、賛助会員等へのご協力、ボランティア養成講座の募集の3種類のスポット放送を朝・夕の時間帯に放送しています。

## ボランティアの研修会

### 質の向上 北海道・東北ブロック研修会

- 上半期（6月30日～7月1日 福島市）  
専務理事以下3名の支援活動員が参加しました。
- 下半期（11月24日～25日青森市）  
支援活動員5名が参加しました。

### 支援活動情報交換会（8月5日～6日東京）

犯罪被害相談員1名が参加しました。

### 直接的支援研修会（全国犯罪被害者支援ネットワーク主催）

- 8月25日～28日 仙台市  
みやぎ支援センターで行われた研修に犯罪被害相談員1名が参加しました。
- 12月5日～8日 東京都  
被害者支援都民センターで行われた研修に犯罪被害相談員1名が参加しました。

### 継続研修会

ボランティア活動員の知識・支援技術向上のため毎月1回、犯罪被害相談員を対象とした研修会を開催しました。

講師は、県警察本部・盛岡地方検察庁、NNVS認定コーディネーター千葉犯罪被害者支援センター藤田きよ子氏、須山理事、織田理事、専務理事などが担当しました。

また、12月3日(日)は、岩手県立大で開催された警察庁・岩手県主催の「性犯罪被害者等に関する研修会」に参加しました。

### 犯罪被害相談員から

#### • 直接的支援研修会（都民センター）

都民センターで5日間の実地研修を受けました。内容は電話受理ロールプレイのほか、経験豊富な支援員に同行して、実際の電話相談や裁判付添支援、事例検討などに参加、体験して技術を身につけるものでした。支援員2年目になりますが、分かったと思い込んでいたこと、そして、よく分からないまま流していたことに、新たな視点で気づくことができました。

#### • 直接的支援研修会（全国ネットワーク）

支援に携わり2年経った今年、全国研修に参加する機会をいただきました。研修は、全体会と14の分科会があり、私はその中の「関係機関との連携」「被害者支援の歴史と倫理」に参加しました。直接支援を行う際に必要な内容であったことと、改めて被害者支援の歴史を学ぶことは意義があり、この学んだことをセンターに持ち帰り日々の支援に活かしていきたいと感じました。

## 養成講座

支援センターの活動を支えるボランティア活動員を希望する方を対象とした平成28年度の養成講座を3月から11月まで実施しました。

講座では、弁護士や臨床心理士、県警本部、盛岡地方検察庁等の担当官から被害者支援の経緯や必要な法律、傾聴技法等の基礎的な教養、被害者遺族から生の声を聞き、被害者の心理と支援の必要性について研修を受けました。所定の講座を終了した4名の方に細江理事長から修了証が交付され、支援活動補助職員として登録されました。

- 盛岡市(男性)・盛岡市(女性)
- 宮古市(男性)・北上市(女性)

## 平成29年度 養成講座

来年度の養成講座の受講者を募集しています。募集要項は以下のとおりです。

### 1 対象

県内在住の25歳以上の方であれば、性別や経験は問いません。

### 2 応募手続き

- (1) いわて被害者支援センターに資料請求されるか、ホームページに掲載されている申込書によりお申し込みください。
- (2) 書類審査後に受講者を決定し、研修の日時等について連絡します。
- (3) 29年5月から12月まで8回、毎月1回3時間(計36時間)の、養成講座を受講していただきます(受講料は無料)。

研修会場は、いわて被害者支援センター事務局がある岩手県立県民生活センターです。

- (4) 講習を終了され方に修了証が交付され、ボランティアとしての活動を希望する方は、支援活動員補助職員として登録され、電話相談や支援活動等に従事します。

### 3 応募の〻切

平成29年3月31日（金）

### 平成28年度「命の大切さを学ぶ教室」の開催

本年も岩手県警察と岩手県教育委員会と共催で、中・高校生を対象として「命の大切さを学ぶ教室」を実施しました。

この教室は、事件や交通事故で家族を亡くされた遺族の方に講演をしていただき、将来を担う若い人たちに犯罪被害者や家族への思いやる心と正しい理解を広

げるとともに事件や交通事故を起こさない、被害者を出さないという気運を醸成するため行っているものです。

受講した生徒たちからは、様々な感想が寄せられており、改めて家族や友人等の大切さと命の重みを学ぶ大切な機会となっております。

#### ■平成28年度開催校

巻堀小学校、河南中学校、山田中学校、雫石高校、花巻農業高校、遠野高校

### 出張相談所の開設

毎月8日に二戸市の岩手県二戸地区合同庁舎1F地域交流ルーム、15日に水沢区の岩手県奥州地区合同庁舎1F県民室において午後1時から4時までの間、出張相談所を開設し、各会場では、犯罪被害相談員2名が各種相談に対応しました。

■県二戸合同庁舎 二戸市石切所字荷渡6-3(シビックコア地区内)  
TEL 0195-23-9201

■県奥州地区合同庁舎 奥州市水沢区大手町1-2  
TEL 0197-22-2811



## 当センターの活動は皆様の募金・寄付金で支えられています。

### 寄付金付き自動販売機の設置にご協力をお願いします

自販機から缶コーヒーなどを**一本買うたびに、売上げの一部が被害者支援に寄付**され、弁護士費用や病院での診察費用、裁判への付添いなどいろいろな支援活動に有効活用されます。

#### ■寄付金付き自動販売機設置箇所【28台】(平成29年1月31日現在)

- ・県警察学校 (6台)
- ・岩手医科大学
- ・白金運輸(株)
- ・水沢自動車学校 (2台)
- ・三陸自動車学校
- ・盛岡地方法務局花巻支局
- ・県警機動隊 (2台)
- ・(公財)岩手県予防医学協会
- ・(一社)岩手県交通安全協会
- ・盛岡南ドライビングスクール (2台)
- ・宮古自動車学校
- ・盛岡地方法務局水沢支局
- ・北日本通信(株)
- ・三菱製紙(株)北上事業本部
- ・(株)アジテック (2台)
- ・千厩自動車学校
- ・中央自動車学校 (2台)
- ・江刺区稲瀬地区センター



Supported by **日本財団 THE NIPPON FOUNDATION**

当センターの事業の一部は「公益財団法人日本財団」の助成金を受けて実施しております。

事件・事故の被害相談

☎ **019-621-3751**  
平日/10:00~17:00(土・日・祝日休み)

はまなすサポートライン  
《性暴力等の被害相談》

☎ **019-601-3026**  
平日/10:30~17:00(土・日・祝日休み)